

要 望 書



仁淀川

(平成 25 年全国一級河川の水質現況調査で、最も良好な水質と評価される)

平成 26 年 7 月 30 日

 土佐市 

土佐市建設治水行政について

土佐市では、波介川河口導流事業の完成や、国道 56 号土佐市バイパス新仁淀川大橋の完成を目前に迎えるなど、市街地における浸水区域の軽減や、土佐市からの農産物や工業製品などの輸送、通勤・通学など「生活を支える道路」のインフラ整備等が進み、「安全安心のまち土佐市」として着実な発展に向け取り組みを行っております。

上記以外にも、渡し上がり川・火渡川の改良工事や急傾斜地崩壊対策工事、県道家俊岩戸真幸線道路改良工事、県道土佐佐川線等の整備も進んでおり、高知県を始めとする関係機関からの継続的なご支援の賜物であり、深く感謝しております。

道路・河川等は豊かで良好な市街化の形成を図るとともに、安全で安心できる市民生活と快適で機能的な生活を支える、最も基本的な基盤施設です。本市では、限られた財源の中で「選択」と「集中」を図りながら道路河川等の整備改修を進めておりますが、未だに不十分な状況にあります。

近年、台風や集中豪雨（ゲリラ豪雨）による被害が全国各地で毎年出ており、その教訓を生かすためにも、河川、道路、それらに関係する付帯施設の維持管理を適切に行うとともに、被害が予想される箇所においては、早急な改良・改修が必要であると考えます。

特に、中心部を流れる鎌田井筋では、平時は耕地を潤す井筋として利用していますが、集中豪雨時には高岡市街地に大きな溢水被害をもたらすとともに、近年の異常気象の影響もあり、下流部の新居地区や蓮池地区に水が全く届かない渇水状況が常習化するなど 2 つの側面を持ち、本市の基幹産業である農業分野でも、深刻な影響が出ております。

本市においても、これら道路、河川整備、治水等に対する市民のニーズは依然として高いことを踏まえ、市民の安心と安全、生活を守り、活力ある経済・社会の構築を推進し、安全安心のまちづくりを創出するためには、「道路」及び「河川」の整備や「治水」施策をより一層推進することが重要課題となっております。

つきましては、この趣旨をおくみ取りのうえ、道路及び河川の整備及び治水対策を行ううえで必要な財源を確保するとともに、本市の施策につきまして特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

南海トラフ地震対策の強化

海・川・山に囲まれた本市においては、南海トラフ地震対策のスピード化と抜本的な強化は喫緊の課題となっております。

特に甚大な被害が予想されている宇佐、新居地区における沿岸部の住民は、日々、地震・津波に対して不安を抱えながら生活をしている現状から、現在実施中であります国直轄区間における新居海岸の堤防補強工事と合わせまして、県管理区間における宇佐漁港区域、新居海岸の堤防補強の早急な整備が必要となっております。

また、本市では、平成24年12月及び昨年5月に高知県が公表しました『高知県版第二弾南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測・被害想定』を南海トラフ地震に備える対策への有効な指標とさせていただいております。この指標を活かしながら巨大地震・大津波から市民の生命を守るため、緊急防災・減災事業及び高知県津波避難対策等加速化臨時交付金、国の都市防災総合整備事業等の制度をフルに活用し、宇佐・新居・用石地区で44箇所の津波一時避難場所の整備を計画しているところです。このうち宇佐・新居地区では、これまでに15箇所で工事が完了、7箇所の工事を発注するなど、全力で津波避難対策を進めています。また、同地区には、保育所や小中学校、高齢者等の福祉施設が数多く点在し、津波から迅速な避難が困難であります要配慮者が使用する施設の高台移転も重要な課題となっております。

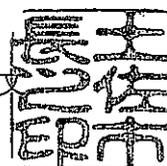
津波浸水区域外の高岡平野におきましても、軟弱地盤に多くの住宅を要し、山間では土砂災害警戒区域内に多くの集落が形成されるなど、建物の倒壊や火災、土砂災害などによる甚大な被害が想定されています。こうした被害を可能な限り縮小するためには、津波一時避難場所の整備と合わせて建物の耐震化、避難路確保のための橋梁の耐震対策や住宅及びブロック塀の安全対策など多岐にわたる対策が求められています。

こうしたハード対策と並行しながら、市民の防災意識の向上を図るための施策の実行、各種計画やマニュアルの短期整備が求められるなど、本市のみでの対策は困難な状況となっております。また、短期間に多くの公共投資が必要であり、本市の厳しい財政状況では、必要な対策の施行が非常に困難な状況となっております。

以上のことから、高知県には継続的かつ強力なご支援をいただきたく要望いたします。

平成26年7月30日

土佐市長 板原 啓文



要望事項

1. 南海トラフ地震対策の強化

- ① 沿岸部（特に宇佐地区）における地震・津波対策の強化
- ② 避難道、避難場所等の整備支援
- ③ 水門・樋門の自動化と管理体制の強化
- ④ 県道橋の耐震化及び補強
- ⑤ 津波避難対策等加速化臨時交付金制度が終了する来年度以降についても、市町村が行う津波避難施設等の整備に対して、県の財政的支援を充実させること
- ⑥ 南海トラフ地震による強い揺れから身を守るため、また、その後発生する津波から安全に避難するため、住宅の耐震化やブロック塀の耐震対策等に対しての補助上限額をかさ上げすること

2. 県管理河川に関する事業

- ① 波介川（県管理区間）の900t計画に向けた早期改修
- ② 白川川（国道56号下）横断暗渠の早期完成
- ③ 渡し上がり川の早期完成
- ④ 長池川の早期完成
- ⑤ 火渡川の早期完成
- ⑥ 末光川の早期完成
- ⑦ 引き続きの河川の維持管理及び災害時における排水ポンプ車等の応援支援

3. 県道に関する事業

- ① 須崎仁ノ線
老朽路側空石積壁の液状化防止対策等による補強及び横断暗渠の早期完成
- ② 家俊岩戸真幸線
出間・板谷間の早期完成及び全線の歩道確保
- ③ 土佐佐川線
大川内・谷地間の早期完成
- ④ 横浪公園線
井尻前～竜の浜駐車場手前までの越波防止対策

4. 鎌田井筋における溢水・渇水対策

近年、鎌田井筋においては、水不足が常態化し、本市の基幹産業である農業に深刻な状況となっております。原因としては、日高村高岩地区にある取水口の河床低下が大きな要因となっており、現在では計画取水量（慣行水利権）6.8 m³/s の 50%～60%まで低下していることから、下流域まで水が届かない状況が発生しております。渇水対策を解消すべく、土佐市では本年度下流部に位置する新居地区において、田畑等への作付けにより必要な水量を把握するため営農状況調査を予定しており、27 年度には範囲を鎌田流域全体に広げて、営農状況調査を行う予定です。

この調査を行うことで、作付けにどの程度の水量が必要であるかを把握出来るとともに、県河川や地下等から取水する際の取水井の規模の目安になります。

また、溢水対策におきましても、ゲリラ豪雨等予測ができない状況下も多々ありますが、流域の安心安全や農業振興を守るためのご尽力を引き続きお願いいたします。

つきましては、鎌田用水の溢水・渇水に関する対策として、下記事項を要望します。

（渇水対策）

- ①27 年度から営農状況調査や計画的に施設整備を実施するため、農業農村整備事業（水利用再編促進事業）における事業採択に向けた支援
- ②万願寺付近での取水井の設置

（溢水対策）

- ①流域外流入に対する排水対策の推進

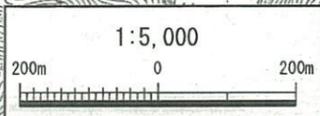
【宇佐地区：一時避難場所及び避難路の進捗状況】

(平成26年7月25日)



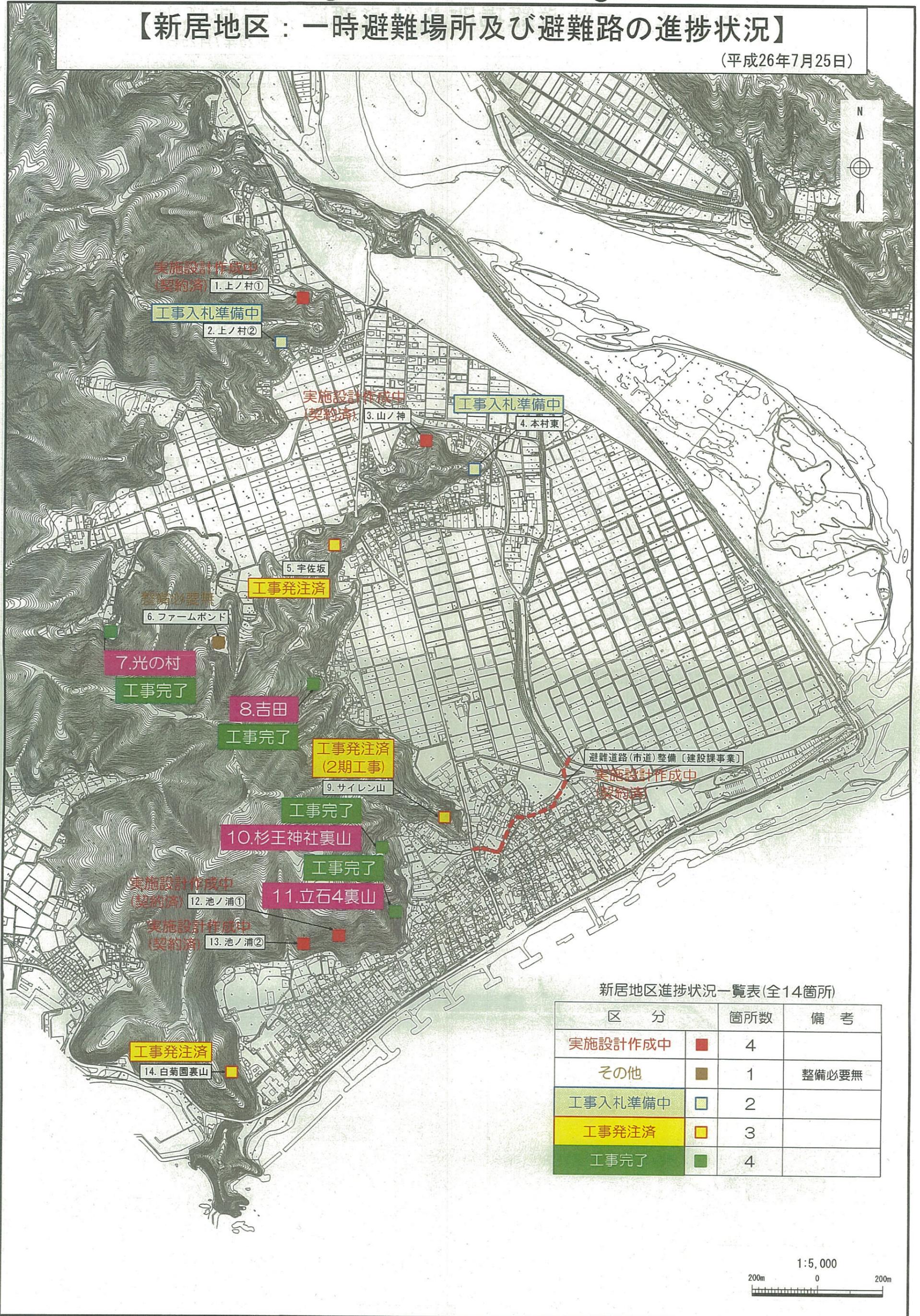
宇佐地区進捗状況一覧表(全24箇所)

区分	箇所数	備考
実施設計作成中	1	
協議中	3	地：地権者協議 境：境界協議
その他	1	整備必要無
工事入札準備中	3	
工事発注済	5	水産課事業含む
工事完了	11	



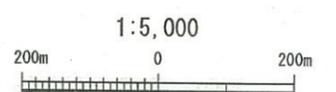
【新居地区：一時避難場所及び避難路の進捗状況】

(平成26年7月25日)



新居地区進捗状況一覧表(全14箇所)

区分	箇所数	備考
実施設計作成中	4	
その他	1	整備必要無
工事入札準備中	2	
工事発注済	3	
工事完了	4	



土佐市津波一時避難場所整備

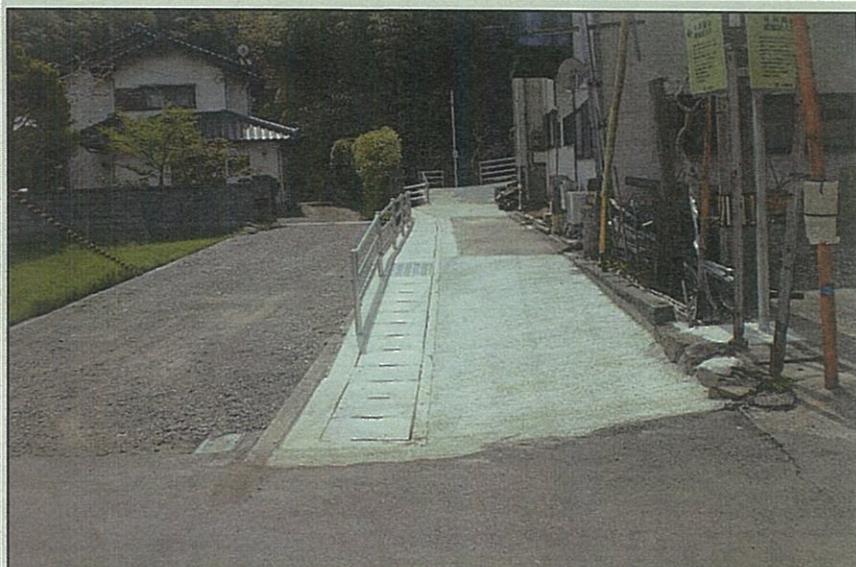
宇佐地区

【宇佐 5】東郷裏山津波一時避難場所

着手前

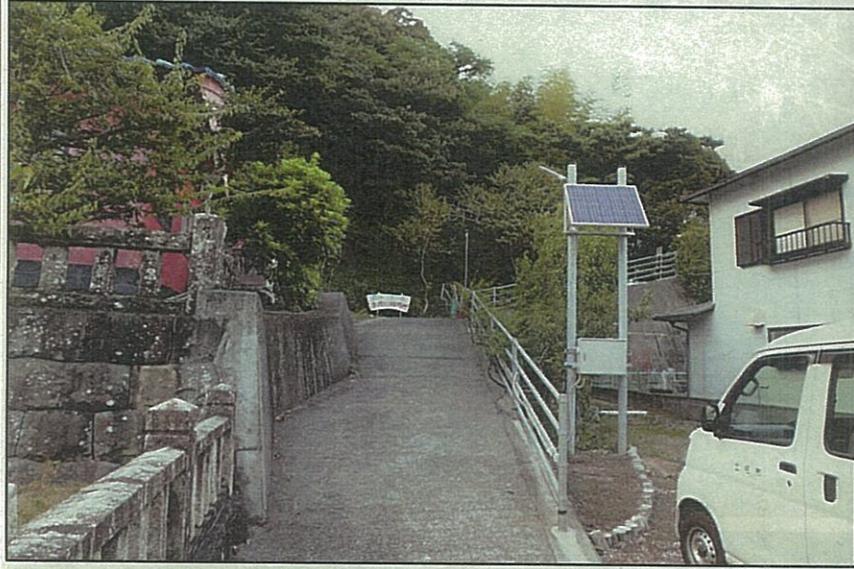


着手後

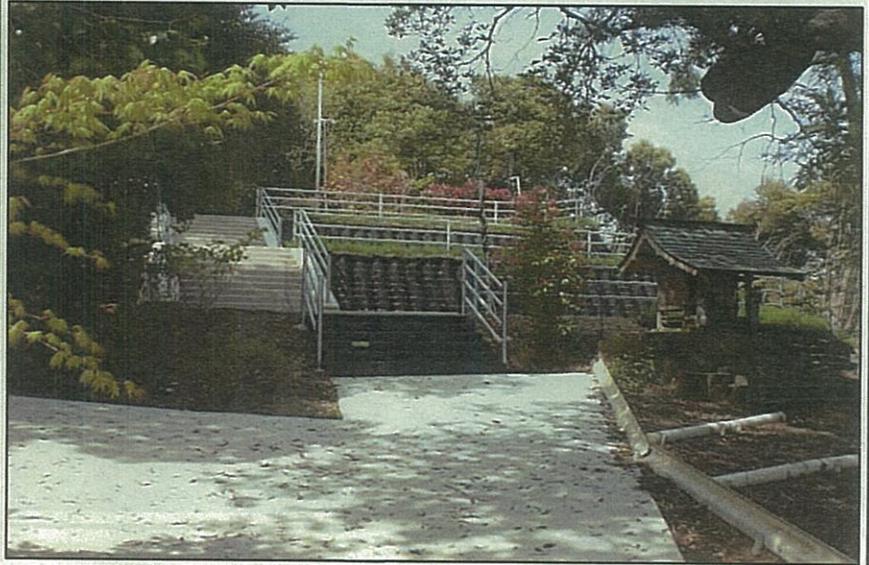
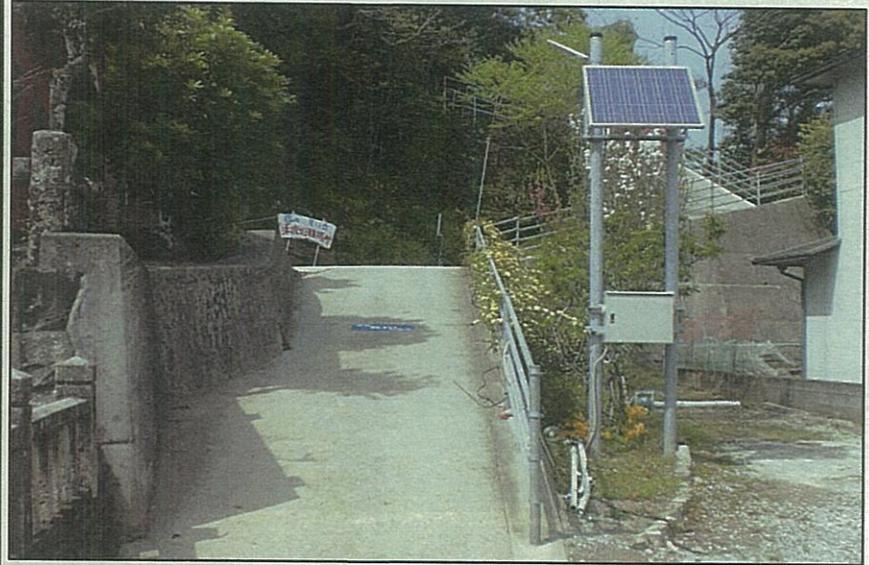


【宇佐 6】稻荷神社の裏津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 9】池田家裏山津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 11】西郷砂防ダム上津波一時避難場所

着手前



着手後

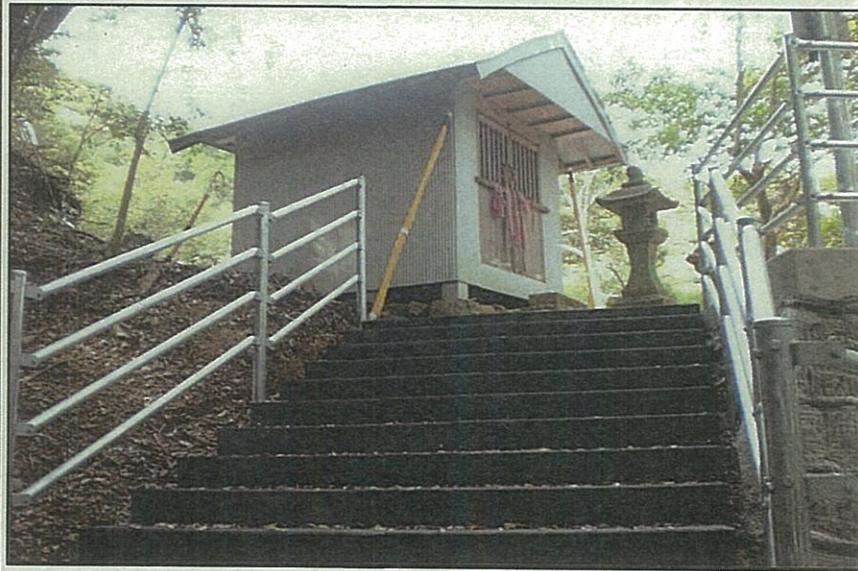
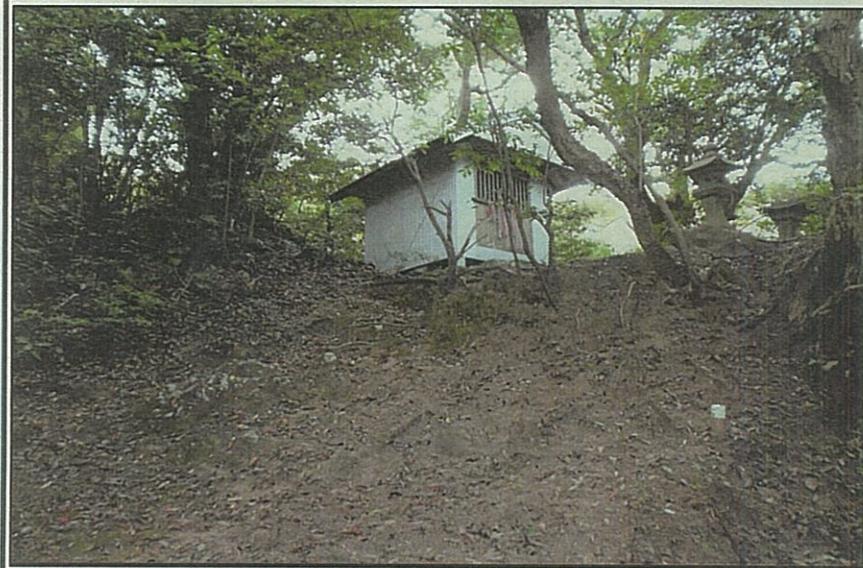


【宇佐 13】渭浜砂防ダム上津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 16】十郎谷津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 18】丹生神社津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 19】仙月山津波一時避難場所

着手前



着手後



【宇佐 20】宇津賀裏山津波一時避難場所

着手前



着手後

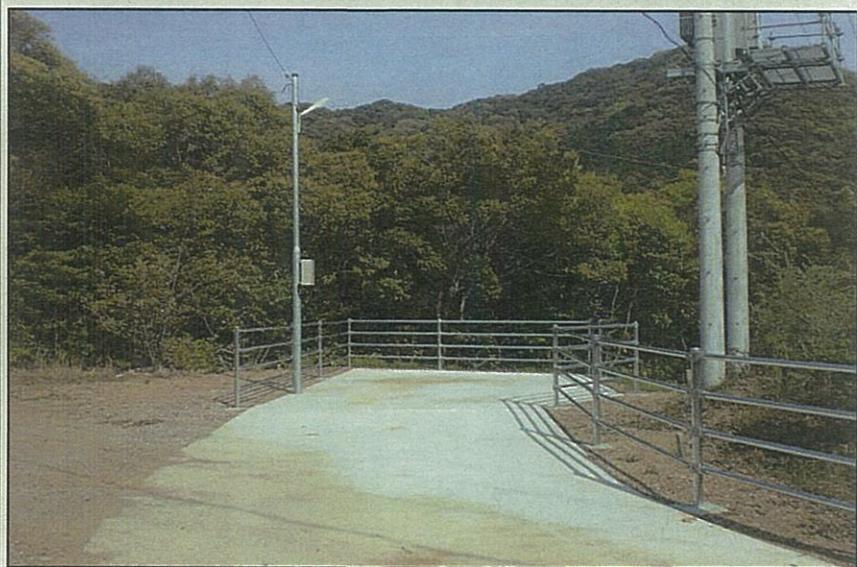


【宇佐 21】鍋鳥頭裏山津波一時避難場所

着手前



着手後

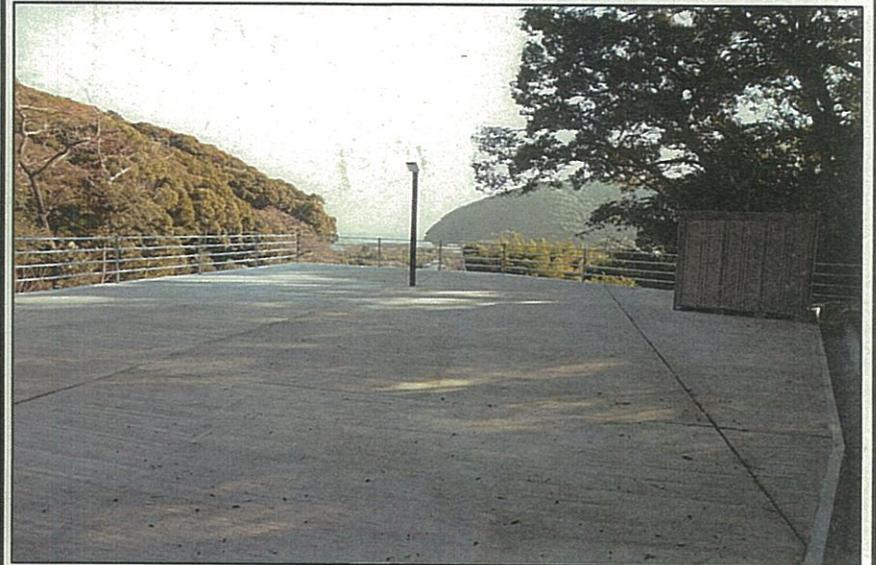
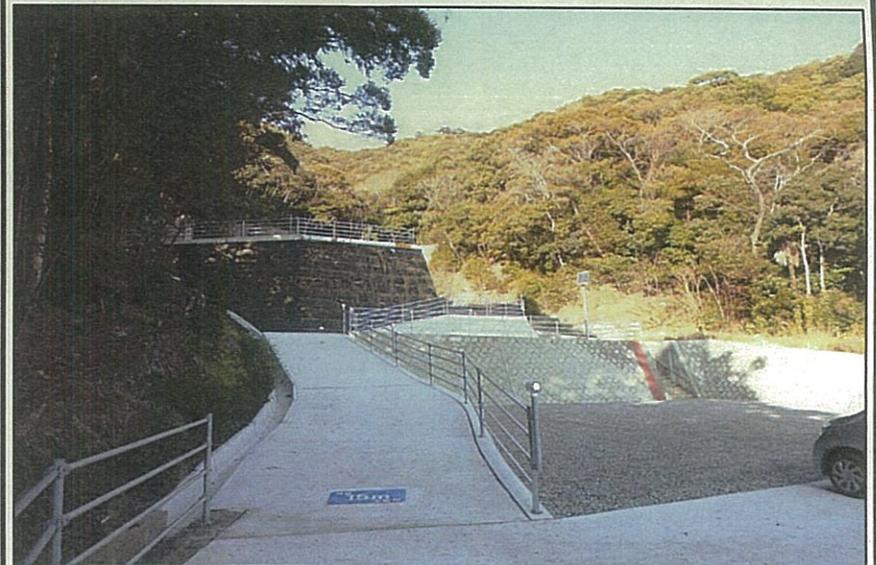


【宇佐 23】竜砂防ダム下津波一時避難場所

着手前



着手後



土佐市津波一時避難場所整備

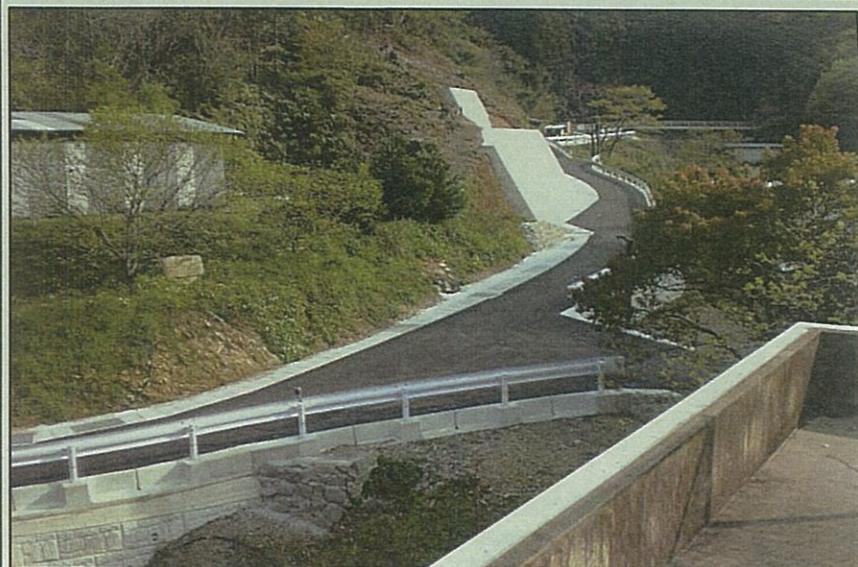
新居地区

【新居 7】光の村津波一時避難場所

着手前



着手後

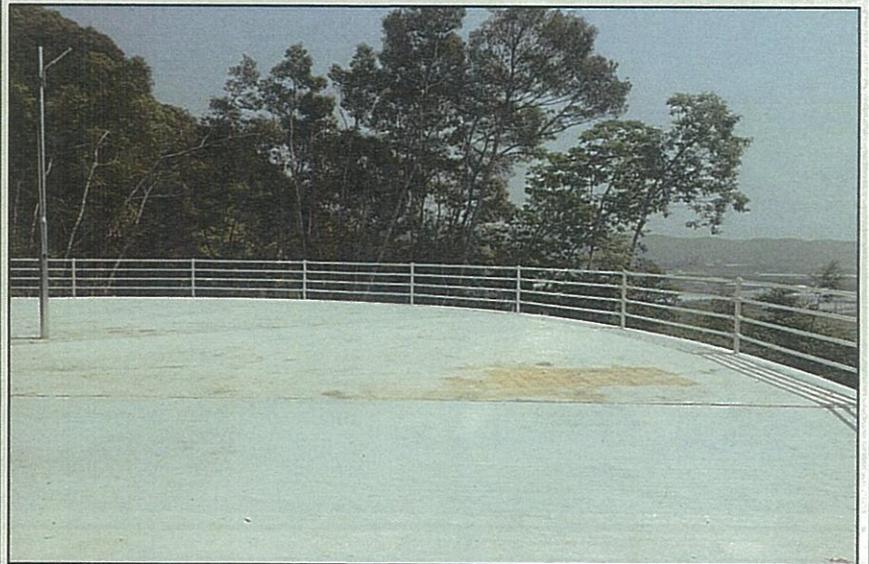


【新居 8】吉田津波一時避難場所

着手前



着手後



【新居 10】杉王神社裏山津波一時避難場所

着手前



着手後



【新居 11】立石4裏山津波一時避難場所

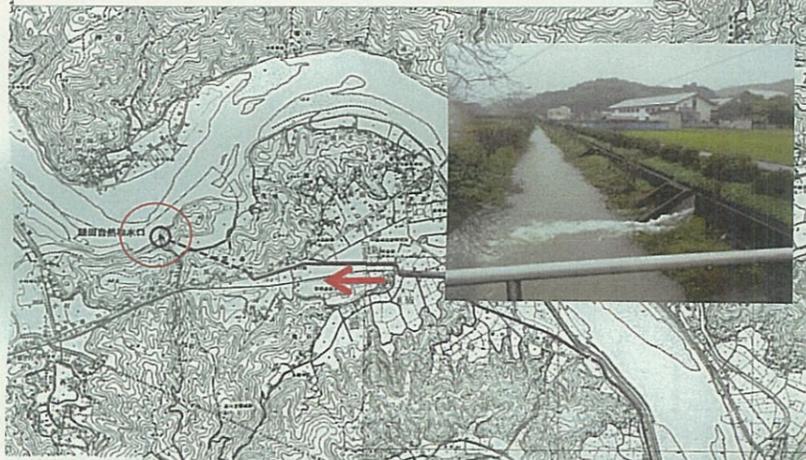
着手前



着手後

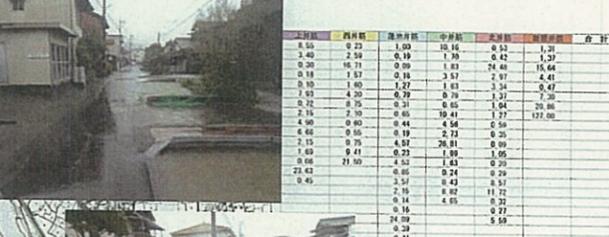
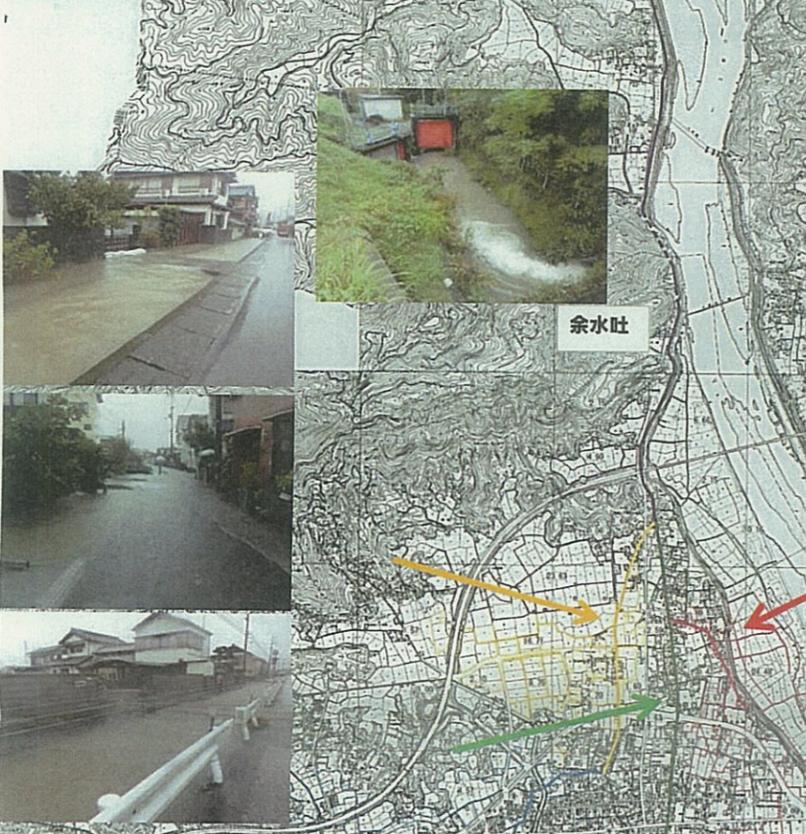
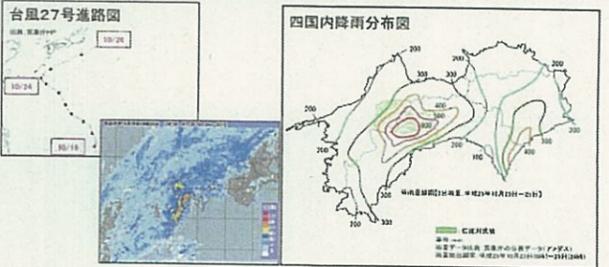


4. 鎌田井筋における溢水・漏水対策



【参考】平成25年10月台風27号の気象概要

○平成25年10月16日にマリアナ諸島の北東海上で台風27号が発生。
 ○強い台風27号はゆっくりとした速度で北西に進み、24日には北北東に進路を変え、日本の南海上を通過した。この間、台風27号から暖かく湿った空気が流れ込むことで、停滞している前線の活動が活発になり、発達した雨雲が断続的に発生した。
 ○仁淀川流域平均雨量(10月23日～25日の3日間)は457mm(速報値)を観測した。



区画番号	西月経	標準月経	中間月経	東月経	前月経	合計
0.50	0.22	1.00	10.16	0.52	1.21	
1.40	2.59	0.19	1.10	0.42	1.21	
0.20	15.71	0.09	1.83	24.48	15.64	
0.18	1.17	0.88	3.87	2.17	4.41	
0.10	1.40	1.37	1.83	2.17	4.41	
1.03	4.20	0.79	0.79	1.21	7.20	
0.12	0.15	0.31	0.65	1.84	28.86	
2.15	2.10	0.85	10.41	1.27	127.00	
4.40	0.80	0.44	4.64	0.59		
4.40	0.80	0.19	2.32	0.26		
2.15	0.75	4.92	20.81	0.09		
1.40	0.41	0.73	1.82	1.66		
0.06	21.50	4.52	1.43	0.20		
21.43		0.24	0.24	4.57		
0.45		2.57	0.45	0.20		
		2.16	8.82	11.72		
		0.14	4.95	0.22		
		0.16		0.27		
		24.39		5.59		
		0.41		0.28		
		0.28		0.28		
		0.47		0.47		
		0.27		0.27		
		1.20		1.20		
		4.50		4.50		
		1.80		1.80		
		3.80		3.80		
		1.84		1.84		
		0.46		0.46		
		2.41		2.41		
		1.56		1.56		
		0.19		0.19		
		1.02		1.02		



計画取水量【6.8m³/s】に対して、現状では3.4m³/s～4.08m³/s程度(計画の50%～60%)のため、下流部まで水が届かない。(原因)日下川からの土砂堆積による河床上昇

鎌田用水路流域面積
 (市街地) 57.19ha
 (山地) 175.15ha
 (田畑) 68.58ha
 合計 300.92ha

